

競技に関する注意事項

1 コロナウィルス感染拡大防止対策

- (1) ① 今大会は無観客とし、競技場へ入場できるのは、各団体の陸上競技部代表、競技役員、選手、マネージャーのみとする。競技場またはウォーミングアップ場へ入場する場合は体調管理表の提出が必要となる。競技場に着いたら最初に必ずマスクを着用し、選手、マネージャー、団体代表、競技役員は1階正面出入口で提出すること。このチェックを受けなければ、本競技場、ウォームアップ場への入場や招集を行うことができない。
複数種目出場する競技がある選手は参加種目数分の体調管理表を準備すること。
- ② 体調管理表は入場ゲートで回収をする。提出がなければ競技会への出場は認めない。
- ③ 各団体の代表も、団体受付で体調管理表を提出が必要となる。その時、入場 ID を配布する（審判の先生は審判員証でよい。）ので競技場の入退場を使用する。各団体の代表、マネージャーはメインスタンド出入口から入退場する。（各団体最大4枚 ID を発行する。）
- ④ 大会後の2週間についても「大会後・自己管理用 体調管理表」を記録すること。
- (2) ① 出場する種目の競技開始2時間前から競技場への入場を認める。それよりも早く競技場へ来場しないこと。
② 招集の際、自分の荷物を全て持ってくる。競技終了後はスタンドへ立ち寄ることができない。競技の最中は競技ごとで指定された場所に全ての荷物を置き、競技終了後はすみやかに競技場からでること。
- (3) 正面スタンドについては特に席を指定しないが、密を避けて座ること。
- (4) 各自で出したごみは必ず持ち帰ること。清掃当番校の割り当てはありません。
- (5) 声を出しての応援は個人、集団問わず禁止する。
- (6) ウォーミングアップや自身の競技の最中以外はマスクを着用し、三密を避ける行動をする。
- (7) 更衣室について、使用する場合は1階正面入り口から入り、ナンバーカードまたは体温チェックシートを提示する。ただし、シャワーの使用は不可とし、すみやかに出ること。
- (8) 記録の掲示は行わない。WEB速報を見て（当日QRコードを配布）確認すること。
- (9) 競技終了後は必ず手洗いや洗顔などを行い、消毒を実施し、新型コロナウイルス感染予防に努めること。

2 競技会全般に関して

1. 本大会は2022年度日本陸上競技連盟競技規則によって行う。
本大会のスタート動作における競技規則は、国内適用を用いる。
2. 各団体代表者(学校については引率教員)は、競技の招集開始時刻までに受付を済ませておく（受付がない場合、競技者は競技に出場できない）。この時、代表者に入場 ID を渡す。（審判員は審判員証でよい）。
今大会は、出場する日は必ず受付をすること。入場 ID も日にちごとに異なる。
3. 招集所、招集時間について
 - (1) 招集所は、1階正面出入口で行う。
 - (2) 招集時間は、タイムテーブルに記載されている時間とする。
4. ウォーミングアップについて
ウォーミングアップの実施は競技開始2時間前から実施することとする。
 - (1) 本競技場
 - ① 本競技場でのウォーミングアップは原則禁止とする。ただし、競技準備完了後8:00より競技開始15分前まではハードルを利用したアップもしてもよい。
 - ② 4×100mRについては、入場開始時間より競技場内の競技に支障のない場所でのアップをしてもよい。
 - (2) ウォーミングアップ場（サッカー場）
 - ① 終了時刻は両日とも、最終種目招集開始時刻までとする。
 - ② 跳躍練習、投擲練習、スパイクを利用した練習は実施できない。
 - ③ 他人の怪我につながる可能性のある行為はしないこと。
 - ④ 出場種目の2時間前から最終コールまで使用可とする。
 - ⑤ 本競技場で入場受付を済ませた選手のみ入場可能
5. 写真及びビデオ撮影について
肖像権の法に触れる行為に関して、個人で記録したものを無断でネット上にアップロードしたりしないこと。
6. 本大会はyoutubeを利用したライブ配信を行う。

7. 10000mに関しては各チーム出場選手につき1名周回の補助をすること。9：15に1階出入口に集合すること。(その際に体温管理表を提出。)

3 競技に関して

1. アスリートビブス (ナンバーカード) について

- (1) ユニフォームの胸、背に確実につける。ただし跳躍競技は、胸または背につけるだけでもよい。
- (2) トラック競技は、招集時にレーンナンバーによる「腰ナンバーカード」を貸与する。ランニングパンツの右横やや後方に、明確に数字が読めるようにつける。
- (3) 男女5000m、男10000m 男女5000mW、男女3000mSCについては「腰ナンバーカード」を左右両方につける。
- (4) 腰ナンバーカードは、フィニッシュ後直ちに係員に返却する。

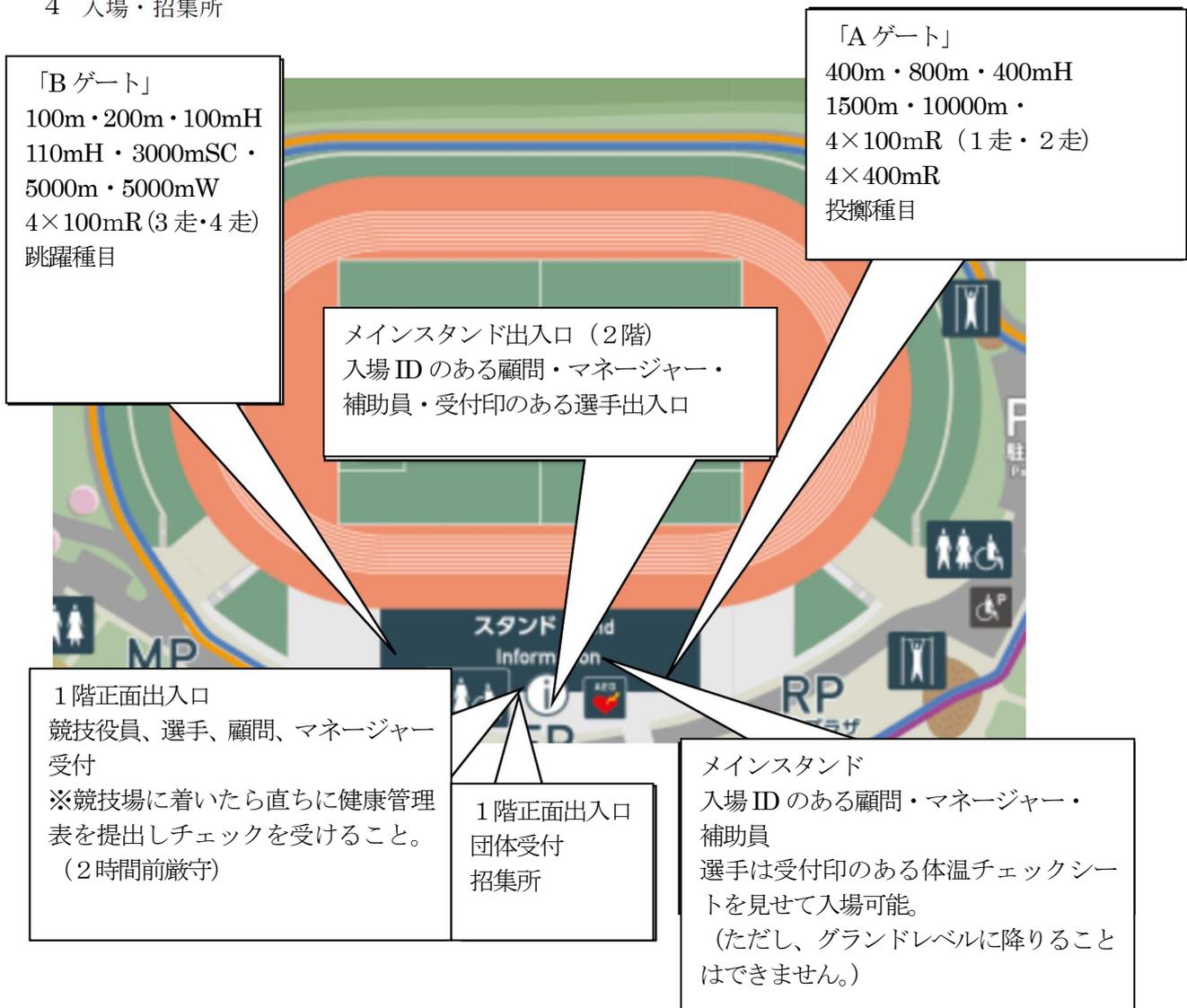
2. 競技について

- (1) トラック競技の走路順・フィールド競技順は、プログラム記載順とする。
- (2) 競技者の変更はいっさい認めない。
- (3) 使用器具は、原則として競技場備えつけのものを使用する。ただし、棒高跳のポールとやり投のやりについては、検定を受けて使用することができる。
- (4) 全天候走路なので、トラック・フィールド共スパイクのピンの長さは9mm以下とする。ただし、走高跳・やり投は12mm以下とする。いずれの場合も本数は11本以内とする。(競技規則第143条2・3・4・5・6参照)
- (5) WA 規則第143条 (TR5: シューズ) のルールを適用する。規格外のシューズを使用して競技に出場した場合は、失格として取り扱う。
- (6) 400mまでのトラック競技では、フィニッシュした後も他の競技者の安全確保のために、自分に割り当てられたレーン(曲走路)で減速し止まる。
- (7) 800mを9名以上で実施する場合、外側のレーンから順に2名ずつ入れる。その場合、欠場者があれば、内側から若い腰ナンバー順につめるため、招集が完了し、出場者が確定してからスタートレーンを確定する。
- (8) 三段跳については男子11m、女子9mの板とする。

(10) 競技運営上以下のタイムで打ち切る

	男	女
5000m	20分	24分
10000m	40分	
3000mSC	13分	16分
5000mW	37分	

4 入場・招集所



※メインスタンド及び1階正面出入口付近は場所取り禁止